

◆頑張っている人物やグループを  
広報編集委員が紹介するページです：担当／島崎則彦

吉川といえば  
ラッキョウ

◆頑張っている人物やグループを  
広報編集委員が紹介するページです：担当／島崎則彦

編集後記



▼香南市の姉妹都市・沖縄県八重瀬町の広報担当・野原です。「広報やえせ9月号」で香南市を紹介させていた  
だきます！お楽しみに♪  
《八重瀬町のホームページ》  
<http://www.town.yaese.okinawa.jp/>  
▼暑中お見舞い申し上げます  
皆さん！元気に夏をお過ごし  
ください (井) (M) (S)  
《広報へのメール》  
kouhou@city.kochi.konan.lg.jp  
《香南市のホームページ》  
<http://www.city.kochi.konan.lg.jp>

ハイサイー！  
香南市の姉妹町



ビタミン(愛)を食卓へ

香南市の食生活改善協議会(北村涼子会長)の委員は現在313人。各町の支部で地域に合った活動を進め「ヘルスマイト」の愛称で親しまれています。

エプロンおばさん

今回は吉川町の野村京子支部長にお伺いしました。現在、吉川支部の委員は28人、結成されたのは昭和44年のことです。

野村さんは「エプロンおばさん」の愛称で呼ばれていた30年ほど前から、栄養改善推進委員として活躍されてきました。胃がんの集団検診時には、モーニングサービスを出して受診者から大好評。お陰で受診率が上がったと喜ばれたそうです。

昭和55年に始まった吉川文化祭では、健康・栄養コーナーを設け、試食や味食テストな

どを試みながら住民と直接食生活の話をしてきました。当時の問題点の一つは塩分のとり過ぎでしたが、料理講習会などを重ねるうちに、徐々に薄味嗜好が浸透してきたそうです。

親子で楽しみながら

大事な取り組みの一つに学校や保育園への訪問活動があります。朝食抜きやインスタント食浸りなど、今の子どもたちの食生活には大きな課題があります。親子で一緒に楽しみながら「食」について考え「生きる力」を育てほしい：そんな願いが込められた活動です。



15年ほど前、高知放送の依頼で特産品のラッキョウを使ったかき揚げやタルタルソースなどのレシピを考案しました。その後「浜美人を育てる会」の皆さんといっしょに改良を加え、生活習慣病予防などさまざまな効能が期待されながら、若い世代に敬遠されていたラッキョウが、見事に数々の人気メニューにアレンジされてきました。地産地消に栄養バランスとおいしさを考えた取り組みは地域の元気の源になっています。



食事はただ空腹を癒やすだけでなく、人と人とのつながり、家族の絆を深める大切な営みです。外食ばかりに頼らず、愛情たっぷりの手作りをぜひ食卓へ。

「ビタミンI(愛)を食卓へ」を心がけてと、呼び掛けていきます。

市のうごき (H21.6.30現在) ( )は昨年同月対比

■人口/33,820人	■6月の火災・救急事故
■世帯/13,792戸	■火災 0件(増減0)
(男/16,125人 女/17,695人)	■救急 111件(6件減)
■出生/ 20人 ■死亡/ 29人	■6月の交通事故
■転入/ 66人 ■転出/ 77人	■事故件数 21件(5件増)
■対前月人口比/ 20人減	■死者 0人(増減0)
	■傷者 29人(9人増)